

## 【2】 経済的な自立の状況について

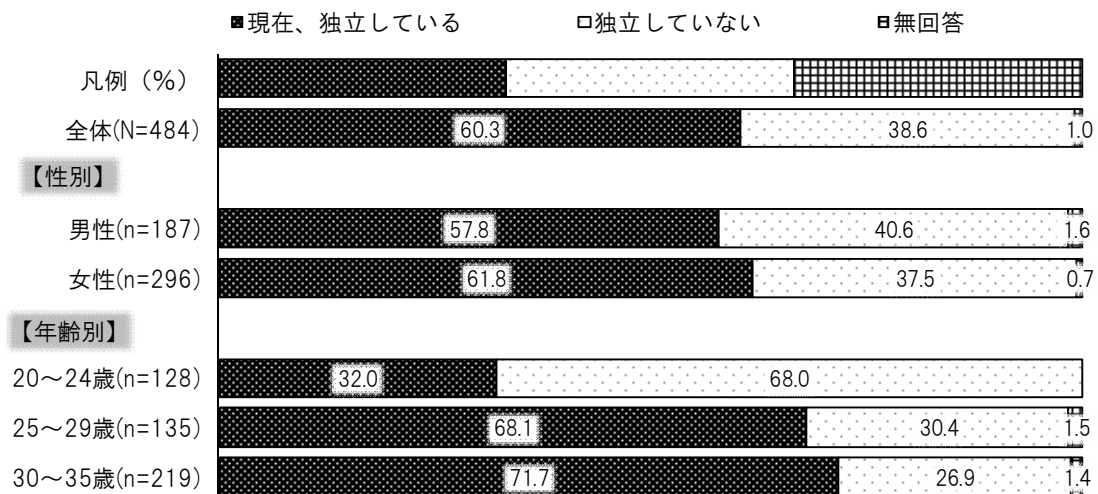
### 1. 親からの自立について

#### (1) 親からの経済的な独立（問 16）

問 16. 現在、あなたは親から経済的に独立していますか。（○印 1 つ）

親からの経済的な独立については、全体の約 6 割（60.3%）が独立していることを認識している。

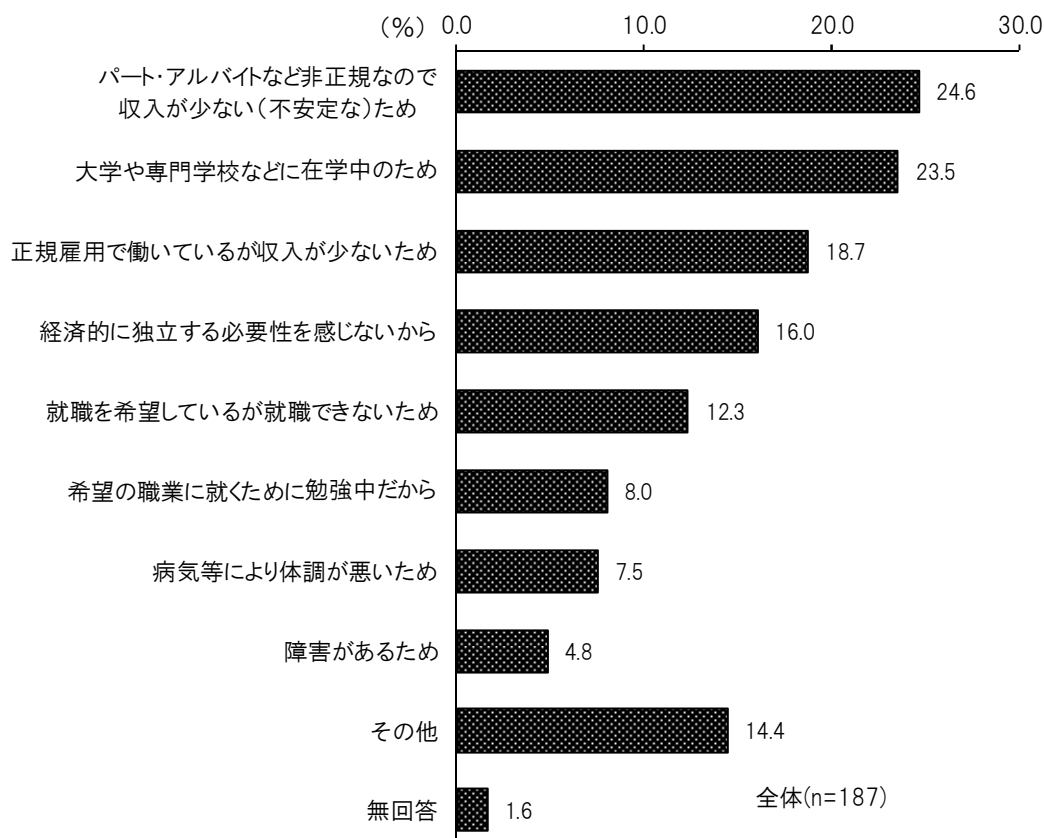
性別では大きな差は目立たないが、年齢別では、20～24 歳の 7 割程度が「独立していない」と認識しているのに対して、25 歳以上ではおおむね 7 割が独立を認識している。



## (2) 経済的に独立できていない主な理由（問 17）

問 17.（問 16 で 2 と回答した方に）経済的に独立できていない、主な理由はどのようなことですか。（○印 3 つまで）

経済的に独立できていない主な理由としては、「パート・アルバイトなど非正規なので収入が少ない（不安定な）ため」の割合が 24.6%と最も高く、ほぼ並んで「大学や専門学校などに在学中のため」が 23.5%で続いている。以下「正規雇用で働いているが収入が少ないため」（18.7%）、「経済的に独立する必要性を感じないから」（16.0%）、「就職を希望しているが就職できないため」（12.3%）の順となっている。



なお、「その他」が 14.4%みられるが、次のような回答があがっている。

- ・親と一緒に住んでいるから
- ・結婚していないため
- ・子育て、子どもがいるため
- ・実家に住んでいるから
- ・シングルマザーのため
- ・先日仕事を辞めたため
- ・同居のため、食費や光熱費を出してもらっている
- ・引きこもり・・・など

年齢別でみると、特に 20～24 歳の年齢層では、他の年齢層に比べ「大学や専門学校などに在学中のため」「希望の職業に就くために勉強中だから」を理由とする割合が高くなっている。また、25～29 歳では、他の年齢層に比べ「パート・アルバイトなど非正規なので収入が少ない（不安定な）ため」の割合が高く、年齢が上がるほど「正規雇用で働いているが収入が少ないため」「経済的に独立する必要性を感じないから」などが高く、年齢による差が目立っている。

		パート・アルバイトなど （不安定な収入が少 ないため）	大学や専門学校などに 在学のため	正規雇用でないため 収入が少ない	経済的に独立する 必要性を感じないから	就職を希望している が就けられないため	希望の職業に就く ために勉強中だから	病気等により体調 が悪い	障害があるため	その他
	全体(n=187)	24.6	23.5	18.7	16.0	12.3	8.0	7.5	4.8	14.4
年齢別	20～24歳(n=87)	17.2	49.4	17.2	11.5	6.9	13.8	1.1	1.1	9.2
	25～29歳(n=41)	36.6	0.0	19.5	19.5	14.6	4.9	12.2	7.3	12.2
	30～35歳(n=59)	27.1	1.7	20.3	20.3	18.6	1.7	13.6	8.5	23.7

## 2. 経済的に独立するために必要な支援（問 18）

問 18. 若者が、経済的に独立するためには、どのような支援が必要と思いますか。  
（○印3つまで）

経済的に独立するために必要な支援としては、「就職先を紹介する支援」の割合が53.3%と最も高く、次いで「仕事に役立つ資格や技能を身につけるための支援」が39.0%で続いている。以下「企業誘致などの雇用の創出」（33.7%）、「資格取得のための経済的な支援」（30.4%）、「就職できるまで指導やアドバイスする支援」（20.9%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「企業誘致などの雇用の創出」を求める割合が高く、女性は「就職先を紹介する支援」「仕事に役立つ資格や技能を身につけるための支援」などで男性の割合を上回っている。

